

平成 28 年度 学校法人創志学園 事業計画書

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

【高等教育部門】

1. 環太平洋大学

<事業計画概要>

就職採用試験で役立つ一般教養及び専門知識を身に付けさせるため、各学部・学科における教養教育及び専門教育に関する教育課程の改訂を図るとともに、正課外の就職対策講座の充実を図る。経営方針としては、平成 28 年 4 月から開設する「経営学部現代経営学科（入学定員 200 名、3 年次編入学定員 50 名）の学生受け入れ体制整備する他、中期目標・中期計画に基づく年次計画に沿って各種事業計画を推進する。

<主な事業計画>

1. 学部・学科の主な取り組み

(1) 次世代教育学部 国際教育学科

英語力を高めるため、学生による勉強会を組織するとともに正課外の対策講座を開設する。また、外国人留学生の受入サポート体制を整備するとともに日本語エクステンションの充実を図る。

(2) 次世代教育学部 こども発達学科

幼児大尉幾指導者の育成を目指した演習プログラムに沿って、「子育て支援プロジェクトリーダー」資格取得者を目標 20 名輩出する。また、英語指導力、体育指導力、地域子育て支援の実践力育成に向けたコース整備をする。

(3) 次世代教育学部 教育経営学科

英語教育・理科教育に強い小学校教員及び ICT 活用指導に強い小学校教員の育成を目指し、学校支援ボランティア、研究授業等への積極的に参加させ、実践力を身に付ける教育活動を行う。

(4) 次世代教育学部 教育経営学科 [通信教育課程]

岡山、大阪、東京、福岡のスクーリング会場について教職科目等の開講を増やすとともに、夏期休暇時期に教員採用二次試験対策講座を実施する。

(5) 体育学部 体育学科

「スポーツ科学コース」「スポーツビジネスコース」「教員養成コース」「公安公務員養成コース」の 4 つに再編成し、養成する人材の差別化と教育内容の充実を図る。

(6) 体育学部 健康科学科

柔道整復師国家試験対策授業等の整備・拡充を図るとともに、業界関連企業による講演会等の就職支援を行う。

2. 就職率向上への取り組み

(1) 採用試験に向けて、キャリアセンター、初年次教育部、キャリア教育部が連携し、正課外講座や模擬試験の更なる充実を図る。

(2) 民間企業等への就職について量・質の向上を図る（ワンハンドレッドクラブの完成を目指す）。

(3) 教員採用試験合格者 70 名以上、公務員合格者 80 名以上を目標とする。

3. 学生支援に関する取組み

- (1) 学習状況、部活動、就職活動等に関する情報を一元的に管理する新システムを導入し、指導担当者間で情報共有して、よりきめ細かな学習指導、生活指導等を行うとともに、メンター及びゼミ担当教員等から保護者に対して情報提供を行う。
- (2) 体育会では、「五訓で生きる」ことを徹底して「教育とスポーツの融合」を推進するとともに、医科学、心理・栄養サポート等を含めた「チーム IPU (サポートシステム)」の意識をもって競技力を向上できる環境を整備する。
- (3) 学友会では年間行事の見直しを行い、より多くの学生が参加できるインカレ等の大尉幾回主要大会への応援ツアーの増加や、体育会以外の各サークル活動への助成充実等を図る。また、前年度の予算執行実績を踏まえ、効率的・効果的な予算執行計画を作成する。

4. 募集戦略

- (1) 平成 29 年度入学試験における志願者数目標を 1360 名（入学定員の 2 倍）とする。
- (2) タイムリーな HP 及び広告物を発信するとともに、スポーツリクルートの進捗管理を徹底する。

5. 施設設備等の整備計画

- (1) 管理棟、学習棟の教室、研究室、共用部分の整備計画を推進する。
- (2) 既存学生寮の整備と改善（収益改善、寮食改善等）を行う。

6. 研究に関する取組み

- (1) 「学術研究支援委員会」を中心として、科学研究費申請のための研修会や説明会の開催、申請書作成に関する個別相談等の充実を図り、科学研究費採択件数・採択額の増加を目指す。
- (2) 科学研究費以外の公的研究費及び民間団体による研究助成の獲得増加を目指す。

7. 評価及び業務の合理化等に関する取組み

- (1) 大学予算の節約及び業務の合理化の観点から、管理経費の節約、省エネルギーの徹底、更なる外注化の推進、IT 化の推進及び新システム導入等の取組みを実施する。
- (2) コンプライアンスの徹底を図るため、公的研究資金の不正使用防止、個人情報の保護及びハラスメント防止対策等に関する学内研修や啓発活動の充実を図る。

2. 東京経営短期大学

<事業計画概要>

現状の授業力と学生指導力を評価分析し、FD 等を通じて教育の質を高めるとともに、日商簿記 2 級取得を目指す「村田塾」と進路先の質的向上と就活強化のための「キャリア塾」の 2 つを開講し、資格・検定の合格率及び就職実績の向上を目指す。経営方針としては、経営総合学科（入学定員 130 名）への入学者数 140 名の確保の他、平成 29 年度開設予定で「こども教育学科」（入学定員 60 名）の設置申請手続を推進する。

<主な事業計画>

1. 経営総合学科のポリシー及びカリキュラム等の再検討

学科の 3 ポリシー（アドミッション、カリキュラム、ディプロマ）を再検討するとともに、四年制大学への 3 年次編入を見据えた科目再編と、受験者数と合格率の向上を目指した推奨資格等の再検討を行う。

2. きめ細かな学生指導の徹底

専任教員に対する「学習心理支援カウンセラー」資格の取得を制度化するとともに、ゼミ担当教員を中心とした全学的な学生指導を徹底する。

3. 学生募集

- (1) 簿記を中心とした資格検定取得 → 進路先の質の向上（職業と企業の選択肢拡大、大学編入、公務員試験、地元優良企業）→ 出身校への報告と広報、という募集サイクルを浸透させる。
- (2) 学校説明会、オープンキャンパスの実施時期を 4 期に区切るとともに内容を抜本的に見直しの上、適切なプログラムを実施し、また実施後は PDCA サイクルを確実に行う。
- (3) 地元での知名度アップと社会人募集に関する取り組みとして、エクステンションセンターによる公開講座を実施する。
- (4) ホームページの全面改訂、及び学校案内等の募集ツールの全面的見直しを行う。

4. モチベーションアップの施策

資格取得意識の高い入学希望者と入学後の上位級検定合格者への特典付与によるモチベーションを図るため、入学金減免特典等の奨学金制度を見直す。

5. 進路支援の強化

- (1) 進路決定率 100%を達成するために、前述の「キャリア塾」と「キャリアセンター」に加えて、ゼミ担当教員が連携して早期決定者を増やす。
- (2) 進路の「数、率、質」にこだわり、求人件数（官民両側の開拓）や推薦編入できる 4 年制大学数を増やす。また、大手町キャリアセンターの活用（企業人事担当を対象とした「人事労務セミナー」の企画や面接練習会場）するとともに、県内の金融機関や大企業を中心に求人開拓を強化し、「就職といえば東京経営」を目指す。

3. 環太平洋大学短期大学部

<事業計画概要>

基礎体力の向上、心の回復力向上、保育の実践力強化を目指して、基礎教養科目の「体育」を通じたフィジカル強化プログラムや、臨床心理士資格を有する教員を中心としたレジリエンス強化プログラムを実践し、附属幼稚園及び元気の泉保育園と連携したヨコミネ式教育法の研究推進を行う。また、発育発達の研究成果を附属幼稚園等と共有し、学生の実践力向上に努める。その上で、就職支援先と連携したヨコミネ式教育法コースの学生確保の他、首都圏を中心としてベネッセスタイルケアコースの新規募集マーケットの開拓を行う。

<主な事業計画>

1. 地元高校生向けの職業体験

保育園・幼稚園協力による「保育士職業体験プログラム」を近隣高校における家庭科教員と連携することで継続実践し、保育分野希望者を開拓しつつ学生募集に繋げる。

2. 外国人留学生募集の強化及び受入体制の整備

宇和島市と友好関係にある中国浙江省象山县を中心に、本学科国際コミュニケーションコースへの入学募集を強化する。

3. 体育会強化指定4クラブの競技力向上

『スポーツのアイタン』を全国にアピールすべく、体育会強化クラブ(ソフトボール・ハンドボール・サッカー・剣道)において、最低限全日本インカレ出場、及び1、2回戦突破を目標とする。また、平成29年開催の「えひめ国体」において、サッカーは優勝、ハンドボールはベスト8進出を目指す。

4. ヨコミネ教育法コースの愛媛県内学生確保に向けた取り組みの強化

愛媛県内の生徒にも積極的にヨコミネ式教育法の魅力を、改めてアピールし、県内の一般生確保を目指す(①高校ガイダンスでの映像解説、②オープンキャンパスでの元気の泉保育園児の体操指導見学)。

5. 男子学生の受け入れについての検討

子ども教育専攻の学生充足率を鑑み、地域のニーズを加味した上で、平成29年度以降における男子学生受け入れを検討する。

【その他の設置校】

4. 環太平洋大学短期大学部附属幼稚園

環太平洋大学短期大学部の教育実習先として教育法実演の早期達成を目指す。附属幼稚園・IPU短大・元気の泉保育園と連携した行事運営の他、ヨコミネ式導入園(5年目)として指導法の確立を目指し、元気の泉保育園との人材交流と人員補完が可能な体制づくりを推進する。また、保護者に対して園の活動をHP等で公開し、保護者の理解や幼稚園教育の充実に繋げる。その他、幼年消防・婦人防火クラブを結成し、避難訓練や緊急連絡に備えた一斉メール等の連絡方法整備を行う。

5. クラーク記念国際高等学校

大学進学率の向上、及び1対1対応の再考と強化、社会的評価の向上を教育方針として、クラーク統一学力測定試験の導入や留学プログラムの拡充とインターナショナルコース体制の強化等を行う。また、教員の専門性を高める専門部会(教務、進路、生徒指導、広報、国際)の代表者会議及び各地区での研修会を実施する。さらに「教育のクラーク」としての認知を広げるため、インターネット広告の運用強化・効率改善(動画広告・ディスプレイ広告等)、及びスマートフォン向けホームページの改善やデザイン強化を推進する。

6. 創志学園高等学校

生活習慣の自律と学習習慣の自立を図るとともに、全科において基礎学力の向上に取り組むことを教育方針として、放課後に行う「特訓ゼミ」等を通して進学意欲と成績向上を図り、岡山大学を含めた国公立大学及び関関同立以上の私立大学への合格実績数を伸ばす(目標15名)。また、高裁的に通用する看護師養成のため、メディカルイングリッシュを含む基礎学力の向上と系列校の岡山医療福祉専門学校福祉専門学校の合格ノウハウにより国家試験合格率の向上を目指す。

7. 日本健康医療専門学校

「一医専心」をコンセプトとする専門職養成機関として、鍼灸・柔道整復学科は国家試験の合格率100%の達成を、ライフケア学科は就職率100%の維持を、ライフデザイン学科は大学合格実績の対前年比を上回ることを目標として教育活動の充実を図る。また、教育力を前面に打ち出したブランド力の強化も図る。高い教育水準を維持するために、鍼灸・柔道整復学科では年2回の講義アンケート結果を教員にフィードバックするとともに、講義研修会を毎月実施する。他学科では各種資格取得や難関大学等への合格指導に重点を置いた学校運営を行う。

8. 専門学校 東京国際ビジネスカレッジ

2020年の東京オリンピックを視野に入れ、ホテル業、旅行業等のサービス業への就職を可能とする英語力及びホスピタリティ向上を目指すとともに、専門技能の習得及び学術的知識向上を目指す。特に、希望進路ニーズに則したカリキュラム編成ときめ細かな教育活動を展開する。「就活道場」や「進路合宿」を活用しながら就職指導に力を入れるとともに、同窓会組織を再編して学生募集及び在校生の就職等に活かす。

9. 専門学校 東京国際ビジネスカレッジ 福岡校

専門課程においては、進路選択の幅を広げるため大学及び企業との連携強化を図る。具体的には、指定校推薦を含め単位互換制度を利用した編入学先の新たな開拓や積極的な大学訪問及び学内進学説明会を実施する。また、企業担当者を招いての特別講義やハローワーク等と連携したイベントを実施する。高等課程においては、生徒が自分の担任を選ぶ「パーソナルティーチャー制度」によるクラス運営の活発化と生徒の満足度向上を目指す。

10. 専修学校 クラーク高等学院天王寺校

教育活動の充実、進路指導の強化、生徒指導の強化を教育活動の柱として、進路先で活躍する力を養成するために、生徒の学習意欲を高め、目標進路決定に役立つ知識・資格を修得させる。特に学習の取り組みとしては、全学年（英・数・国）の習熟度別授業を展開するとともに、同科目の学力向上と進路決定に向けたカリキュラムの定着を図る。

11. 専修学校 クラーク高等学院名古屋校

従来の IPUNZ 国際コースをインターナショナルコースに格上げするとともに、クラークオーストラリアキャンパスや IPUNZ との連携による国際教育の拡充や帰国子女の受け入れ強化を行う。また、大学進学率 75% を目指したカリキュラムの見直しや学習合宿・資格取得講座等を導入する。さらに、企業からの課題に対して企画立案やプレゼンテーションを行う「クエストカップ」の拡充によってキャリア教育の強化を図る。

12. 専修学校 クラーク高等学院大阪梅田校

大学進学率と質の向上を目指して、基礎学力オールチェック及び習熟度別授業による教科指導の徹底、さらには難関大学入試対策プロジェクトによる進学対策強化と進路指導を徹底する。また、中学校訪問による募集活動の充実を図るとともに、「大阪 2 校で 1000 名在籍体制」の達成を目標として、天王寺校との広報活動の連携を推進する。